



令和7年度第2回 宮崎県介護現場革新会議

説明資料



目次

- 1 令和7年度における生産性向上の推進のための取組について
- 2 令和8年度における生産性向上の推進のための取組について
- 3 その他

目次

1 令和7年度における生産性向上の推進のための取組について

2 令和8年度における生産性向上の推進のための取組について

3 その他

ひなた介護DX支援センターの取組

ひなた介護DX支援センターでは、令和7年度に以下の取組を実施した。

- 1 介護事業所からの生産性向上の取組等に関する相談対応
- 2 生産性向上の取組に関する研修会
- 3 介護事業所に対する伴走支援の実施
- 4 その他

取組に係るKPIとの比較

①ひなた介護DX支援センターにおける相談対応件数

【KPI（成果指標）】

相談対応件数：年間80件

【取組内容】

- ・ ひなた介護DX支援センターによる相談窓口を設置・運営し、介護事業所からの生産性向上の取組等に関する相談に対応

【実績（R7.4.1～R8.1.31）】

相談対応件数：77件

【主な相談内容】

- ・ 生成AIを活用したシフト作成を導入するための支援をしてほしい。
- ・ 介護テクノロジーの導入を検討しており、機器の試用貸出をお願いしたい。
- ・ 事業所の業務負担が大きく、問題点が何であるかを外部の視点から助言してほしい。
- ・ デイサービスにおいて、生産性向上にどのように取り組めばよいか教えてほしい。
- ・ 介護テクノロジーに活用できる補助金を教えてほしい。

取組に係るKPIとの比較

②ひなた介護DX支援センターが実施する研修会の受講者数

【KPI（成果指標）】

受講者数：年間200名（オンライン受講含む）

【取組内容】

- ・生産性向上の取組に関する研修会を計6回開催（宮崎・都城・延岡で各2回ずつ）
- 講師：（株）さくら未来研究所 向江隆行氏

【実績（R7.4.1～R8.1.31）】

受講者数：271名（オンライン受講含む）

【受講者アンケート（抜粋）】

- ・現場に即した内容でわかりやすく有意義なセミナーだった。
- ・AIを活用するにあたり、個人情報扱う職業のためAIに任せる線引きが難しい。
- ・新しい製品が次々販売され、何が施設にマッチするかわからない。
- ・全職員が同じレベルで活用できるような工夫が必要。
- ・できる人が限られ、その人への負担が大きい。苦手意識がある。

日本のひなた宮崎県

ひなカイ

宮崎県委託事業

ひなた介護DX支援センター

介護生産性向上に向けた
セミナー&イベント

(介護ロボット・ICT機器展示会)

セミナー 受講料 無料 定員50名 生成AI等の実例も紹介!

【第1回目】
介護現場の生産性向上に向けた第一歩

サブテーマ

- 生産性向上とは何か? 介護分野における意義と必要性
- 生産性向上のための基本的な考え方とフレームワーク
- 介護現場の現状と課題
- ICT・テクノロジー活用基礎知識
- 業務改善の進め方とPDCAサイクル

【第2回目】
介護現場における生産性向上の実践

サブテーマ

- ICT・ロボット等導入による業務効率化の実例
- 業務プロセスの見直しと現場改善活動の紹介
- 生産性向上と職員の働きやすさ・定着率向上の関連
- 今後の展望と持続可能な生産性向上のためのポイント

〔日時〕 受付 13:00～ セミナー13:30～15:00 各会場共通

都城会場 10月2日 12月15日
都城市総合社会福祉センター
都城市松元町4街区17号

延岡会場 10月3日 12月18日
延岡市社会教育センター
(カルチャープラザのべおか)
延岡市本小路39番地1

宮崎会場 10月14日 12月17日
宮崎県福祉総合センター
宮崎市原町2番22号 人材研修館

講師



向江 隆行氏

鹿児島県よろず支援拠点コーディネーターとして、また、介護労働安定センター鹿児島支部や鹿児島県他多数で介護現場のIT導入セミナー講師を行っています。また、当センターの雇用管理改善人材育成コンサルタントとして集団支援や個別支援を行っており、介護現場のニーズに即した支援を行っています。鹿児島県を中心に九州では、福岡県でも生産性向上支援研修講師として誇り、介護現場の現状を踏まえた上で、介護生産性向上に向けた、生成AI等の実例も紹介されるセミナーです。

プロフィール

- 2007年 ITコーディネーターの資格取得
- 2014年 中小企業診断士資格取得
- 2015年 南洲総合研究所 鹿児島県よろず支援拠点コーディネーターとして勤務
- 2017年 2級キャリアコンサルティング技術士の資格取得
- 2020年 株式会社ヒーローズ設立。専務取締役就任
- 2023年 株式会社さくら未来研究所に商号変更 代表取締役就任

〔介護テクノロジー導入支援補助金〕を活用する場合は、同セミナーの受講が必要です(終了後に録画映像を視聴することも可能です)

展示会・イベント (介護ロボット・ICT機器)

展示機器の展示・実演を開催します。

①10月14日 ②11月11日 ③11月28日 ④12月17日

※①11/11※、③11/28※は、実演・説明会など開催いたします。

場所 宮崎県福祉総合センター 人材研修館 1F 展示場にて
宮崎市原町2-22

〔時間〕 10:00～16:00



受講申込書

FAX 0985-31-0335
または
E-mail miyazaki@kaigo-center.or.jp

ひなた介護DX支援センター 宛 申込日: 令和 年 月 日

「セミナー&介護ロボット・ICT機器 展示会イベント」参加申込書

セミナー 各会場定員50名 13:30～15:00 オンライン動画配信 事前登録制 ※一般の方はご連絡ください。

ご参加希望に をしてください ※1日につき2名まで参加可能

| 会場 | 開催日 | 参加者名 |
|---|--------------------------|------|
| 都城会場 (都城市総合社会福祉センター) | ①令和7年10月2日(木) | |
| | ②令和7年12月15日(月) | |
| 延岡会場 (延岡市社会教育センター (カルチャープラザのべおか)) | ①令和7年10月3日(金) | |
| | ②令和7年12月18日(木) | |
| 宮崎会場 (宮崎県福祉総合センター) | ①令和7年10月14日(火) | |
| | ②令和7年12月17日(水) | |
| オンライン動画配信 | ①令和7年10月27日(月)～11月10日(月) | |
| | ②令和8年1月7日(水)～1月20日(火) | |

展示場 イベント 定員10名 ※詳細は改めてご連絡いたします。 ※オンライン動画配信は1名まで

ご参加希望に をしてください ※1日につき2名まで参加可能

| 開催日 | 内容 | 参加者名 |
|---------------|-----------------|------|
| 令和7年10月14日(火) | 展示機器について企業による説明 | |
| 令和7年11月11日(火) | 実演・説明会内容調整中 | |
| 令和7年11月28日(金) | | |
| 令和7年12月17日(水) | 展示機器について企業による説明 | |

| | | | |
|---------|------------|-----|-----|
| 法人名 | 所在地 (〒 -) | | |
| 事業所名 | | | |
| サービス種類 | 職員数(概数) | | |
| TEL | - - | FAX | - - |
| メールアドレス | @ | | |
| ご担当者 | 役職 | 氏名 | |

※1事業所2名まで申し込み可能です。(それ以上の場合は、表面の問い合わせ先までご相談ください。)
※申込書に記載された内容については、当センターの個人情報管理規定に従い厳重に管理し、相談支援に必要な範囲で使用するか、当センターの事業ご案内に使用させていただきます。それ以外の目的には使用しません。
※相談内容は秘密厳守いたします。

取組に係るKPIとの比較

③伴走支援事業所における成果（時間外勤務の縮減、有給休暇取得の拡大等）

【KPI（成果指標）】

生産性向上推進体制加算Ⅰ算定開始時に求める生産性向上の取組の成果（総業務時間や超過勤務時間の縮減、年次有給休暇の取得の拡大等）と同等の効果を創出

【伴走支援事業所】

- ・以下の3施設において、専門家による伴走支援を実施
 - ① 介護老人保健施設相愛苑（小林市）
 - ② 特別養護老人ホーム敬寿園（延岡市）
 - ③ 特別養護老人ホームひえいの郷（延岡市）

【実績（R8.1.31時点）】

（伴走支援事業所の職員の所感）

- ・時間短縮になったことで、業務がスムーズになってきた。
- ・今回の取組により、2割程度の業務時間の短縮につながったと思う。
- ・課題の見える化により、現場での発信が活発になった。

伴走支援事業所による取組

【取組概要】

- ① 介護老人保健施設相愛苑（小林市）
 - ・ 導入済みのスマートフォンやヘッドセット、記録ソフトと合わせて、生成AIやタスク管理ツールの活用により職員間の円滑な情報共有を図り、業務効率化へつなげる。
- ② 特別養護老人ホーム敬寿園（延岡市）
 - ・ タスク管理ツールを活用し、職員間の情報共有のデジタル化を図る。
 - ・ 手書きだったケア記録をデータ化し、さらに文章の要約に生成AIを活用するなど、業務効率化へつなげる。
- ③ 特別養護老人ホームひえいの郷（延岡市）
 - ・ 記録ソフトを活用したタイムスタディ等を実施、業務時間の見える化を目指す。

介護事業に関わる皆様へ

介護事業所の

生産性向上に向けた
交流フォーラム

2026 2/25 水

会場 KITENビル 8F
大会議室
宮崎市錦町1番10号

時間 12:45~16:00
[受付:12:00~]

受講料 **無料**
定員 80名
※定員に達し次第
締め切ります。

交流フォーラム スケジュール

12:00~ 受付開始

12:45▶13:00 開会・オリエンテーション

13:00▶14:30 **第一部** 伴走支援
事例紹介ディスカッション

- 生産性向上ガイドラインを「デジタル」×「AI」で加速させる！
医療法人相愛会 介護老人保健施設 相愛苑
- 現場が自走する組織へ！
AI×Trello×Googleで実現した16個の生産性向上 半年の軌跡
社会福祉法人康生会 特別養護老人ホーム 敬寿園
- 1か月で実現するタイムスタディから始まる「利用者×スタッフとウェルビーイング最大化」
社会福祉法人川水流福祉会 特別養護老人ホーム ひえいの郷

14:30▶14:40 10分休憩

14:40▶16:00 **第二部** 基調講演
**2027年度義務化に備える
生産性向上委員会設置への
カウントダウン**
～介護テクノロジーの導入前にやるべき、
生産性向上の実務ステップ～

講演内容
・介護テクノロジーの導入前にやるべきこと
・生産性向上ガイドラインの重要性
・他県の成功事例
・現場が自走する伴走支援

第二部 講師 岸田 隆之 氏
合同会社オートケア 代表取締役

介護ITインストラクター DXアドバイザー
北九州ロボット・DX推進センター専門家
北九州市において、養老施設メーカー、福祉用具事業を担い
し、国立大学法人九州工業研究大学院生命理工学科科長
兼造教授と合同会社オートケアを設立。
ケア記録AIアプリFonLog、介護ITインストラクター養成、DXコンサルティングなど
介護事業所の業務改善、IT化を支援。現場の視点に立ったアドバイスや、すぐに活かせる実
践的な支援を提供され、多くの現場から支持を蒙っており、九州各地で活躍されて
います。今後の生産性向上に向けた取組のために活かしていただきたい講演です。

介護テクノロジー導入支援事業

介護テクノロジー導入支援補助金（令和7年度）

○補助メニュー別

| 機器の種類 | 令和7年度（交付決定ベース） | | | |
|---------------------|----------------|--------|-------------|--------|
| | 事業所・施設数 | | 補助金額（円） | |
| 介護テクノロジー等の導入支援 | 119 | 96.0% | 224,060,000 | 83.9% |
| 介護テクノロジーのパッケージ型導入支援 | 5 | 4.0% | 42,963,000 | 16.1% |
| 合計 | 124 | 100.0% | 267,023,000 | 100.0% |

介護テクノロジー導入支援事業

モデル施設育成・地域づくり事業（令和7年度）

地域のモデルとなる施設を育成し、モデル施設における好事例の横展開等を通して、介護現場における生産性向上の取組の推進を図ることを目的として、以下の3施設をモデル施設として採択し、介護テクノロジーの導入等の取組を支援。

- ① 特別養護老人ホーム昭寿園サンヒルズ（日南市）
導入機器：移乗支援機器、入浴支援機器、音声記録ソフト、インカムほか
- ② 介護老人保健施設東海園（延岡市）
導入機器：見守りセンサー（介護ソフトとの連携）ほか
- ③ 特別養護老人ホームゴールデンレイク（宮崎市）
導入機器：移乗支援機器、見守りセンサーほか

その他、職員に対する研修の実施や業務コンサルタントの活用、取組の周知のためのパンフレット（ホームページ）の作成等の取組を支援。

目次

- 1 令和7年度における生産性向上の推進のための取組について
- 2 令和8年度における生産性向上の推進のための取組について**
- 3 その他

ひなた介護DX支援センターにおける令和8年度の取組

ご意見をいただきたい内容

「ひなた介護DX支援センター（以下「ひなカイ」という。）」における令和7年度の取組実績を踏まえた**令和8年度への改善点等**について

【ひなカイの主な業務内容】

介護現場の生産性向上に関する以下の業務

- 1 相談対応
- 2 研修会・展示会の開催
- 3 伴走支援の実施、有識者の派遣
- 4 その他

ひなた介護DX支援センターにおける令和8年度の取組

1 相談対応（R7実績：R8.1.31時点）

- 相談件数 77件
- 相談内容 介護テクノロジー関係：27件、業務改善関係：14件 ほか（展示場見学、試用貸出等）
事業所別：特別養護老人ホーム20件、介護老人保健施設9件、グループホーム5件、通所介護5件 ほか

課題

- ひなカイの認知度向上と介護事業所によるさらなる活用促進
- 具体的にどのような支援が受けられるのか分かりづらい

令和8年度に向けた改善策（案）

- 介護事業所がひなカイの支援内容・役割をイメージしやすいよう、相談事例を記載したパンフレットの作成等の周知・広報に取り組む。
- 介護現場革新会議委員に、各団体の会議・イベント等の機会を活用して、ひなカイのチラシを事業者へ配布いただくなど、ひなカイの周知へ協力いただく。

ひなた介護DX支援センターにおける令和8年度の取組

2 研修会・展示会の開催（R7実績：R8.1.31時点）

【研修会】

- ・ 受講者数 271名（計6回） ※オンライン受講含む

【展示会】

- ・ 参加者数 54名（計4回）

課題

- ・ 受講者も実際に操作しながら受講できるとさらに内容が身につくのではないか
 - ・ 改善事例をもっと紹介してほしい
 - ・ テクノロジーの導入前に研修を受講したかった
- ※いずれも受講者アンケートから抜粋

令和8年度に向けた改善策（案）

- ・ 研修内容をより深く理解してもらうため、ワークショップ等の双方向型の内容を交えて実施する。
- ・ どのような効果があるかイメージしやすいよう、生産性向上に取り組む事業所の事例を研修会で紹介する。
- ・ 階層（経営者、職員等）に応じた内容や、テクノロジーの導入前に受講できるよう、開催時期や回数、内容を見直せないか検討する。

ひなた介護DX支援センターにおける令和8年度の取組

3 伴走支援、有識者の派遣（R7実績：R8.1.31時点）

- 伴走支援 3事業所へ支援を実施（敬寿園（特養：延岡市）、ひえいの郷（特養：延岡市）
相愛苑（老健：小林市））
- 有識者派遣 9件

課題

- ひなカイの認知度向上と介護事業所によるさらなる活用促進
- どのような支援が受けられるのかイメージがわきづらい
- 伴走支援内容の他事業所への横展開

令和8年度に向けた改善策（案）

- 取組事例や成果をパンフレットとしてまとめ、県内事業所へ横展開することにより、支援内容を周知するとともに、生産性向上の取組が幅広い事業所で行われるよう促す。
- 介護現場革新会議の委員が事業所の取組を知る機会を設け、伴走支援を受けた事業所での取組内容を確認いただくとともに、取組事例を紹介するパンフレットを各団体の会員事業者へ配布いただくなど、取組内容の周知へ協力いただく。

目次

- 1 令和7年度における生産性向上の推進のための取組について
- 2 令和8年度における生産性向上の推進のための取組について
- 3 その他**

その他

介護事業所の生産性向上に向けた交流フォーラム

- 日時：令和8年2月25日（水） 12:45～16:00
- 会場：KITENビル8階 大会議室（定員80名）
- プログラム：
 - ①伴走支援事例紹介ディスカッション
伴走支援を実施した3施設による取組事例の発表・パネルディスカッション
 - ②基調講演
生産性向上の実務ステップ等についての講演
（講師：合同会社オートケア 岸田隆之氏）

令和8年度の介護現場革新会議の開催

- 年1～2回、同会議を開催予定。（当年度の事業実績の報告や、次年度の事業計画の検討等を実施）

介護事業所に
生産性向上に向けた
交流フォーラム

定員 80名 ※定員に達し次第
座席の切り替えます。

受講料 無料

2026 2/25 水

会場 KITENビル 8F
大会議室
宮崎市錦町1番10号

時間 12:45～16:00
[受付12:00～]

交流フォーラム スケジュール

| | | | |
|-------------|--------------------------|-------------|--|
| 12:00～ | 受付開始 | 14:40▶16:00 | 第二部 基調講演 2027年度義務化に備える 生産性向上委員会設置への カウントダウン ～介護テクノロジーの導入前にやるべき、 生産性向上の実務ステップ～ |
| 12:45▶13:00 | 開会・オリエンテーション | 講演内容 | ・介護テクノロジーの導入前にやるべきこと ・生産性向上ガイドラインの重要性 ・他県の成功事例 ・現場が自走する伴走支援 |
| 13:00▶14:30 | 第一部 伴走支援 事例紹介ディスカッション | 第二部 講師 | さし 隆之 氏 合同会社オートケア 介護ITインストラクター DXアドバイザー 北九州口ポット・DX推進センター専門家 北九州府に於いて、経営者セミナー、福祉用IT事業を継続 し、思立大学法人九州工業研究大学院生命体工学科科長 副産教授と合同会社オートケアを設立。 ケア記録AIアプリFontLog、介護ITインストラクター養成、DXコンサルディングなど介 護事業所の業務改善、IT活用支援、現場の現場に立つアドバイザーや、すぐさま具体的な 実践的な支援を提供され、多くの現場から支持を集めておられ九州各地で活躍されて います。今後の生産性向上に向けた取組のために活かしていただきたいと思います。 |
| 14:30▶14:40 | 10分休憩 | | |